

2020年度総務省インターンシップ 実習課題一覧

別紙

	研究課題	実習内容	受入部署(予定)	受入可能時期	受入可能期間	実習形式	実習に係る経費 (府省内での実習 交通費を除く)	受入人数
課題 1	国の行政管理・評価、統計にかかる政策に関する行政実務	総務省では、行政の組織・業務のあり方を変革し、国家行政の基盤を整備する仕事をしています。政策評価・監視の推進や、新時代の行政をつくる業務・働き方改革やデジタルガバメントの推進、行政運営の透明性・信頼性の確保、客観的な政策決定の基礎となる公的統計の整備など、幅広い分野で活躍しています。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。	関係部局(調査票の内容(興味・関心)より調整)	2020年8月17日(月) ～ 9月25日(金)	3日間～1週間 程度	実務部署での 受入型	外部施設見学等を行う場合は適宜自己負担頂く可能性があります。	90～100名程度 ※昨年度受入実績:97名(人事院主催の公共政策大学院・法科大学院向けインターンシップを含む)
課題 2	地方自治行政に関する行政実務	総務省は国と地域のあり方を変革し、未来の日本をかたちづくる仕事をしています。地方分権や大都市制度などの統治機構改革、今後の少子高齢化社会を見据えた地域活性化策の立案、地方分権改革を財政面で支えるための地方税財源の充実確保、東日本大震災等を踏まえた消防防災体制の強化などを通じて地方自治行政の根幹を支えています。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。						
課題 3	情報通信産業・技術にかかる政策に関する行政実務	総務省では、情報通信技術(ICT)を用いて、人・モノ・データ等のあらゆる資源を結びつけ、新たな付加価値を生み出す仕事をしています。 その仕事は、携帯電話・スマートフォン等の通信市場の競争促進政策、4K・8K等の高度な放送サービスの導入、医療・教育等の社会的課題を解決するICT利活用政策、ICTインフラの国際展開・ICTをめぐるルール整備に関する国際戦略、AI・5G等の最先端技術の研究開発・実用化推進など、多岐にわたります。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。						